

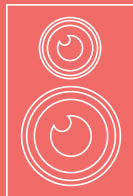
証券コード：2304

 セントラルサービスシステムグループ
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP
株式会社CSSホールディングス



Support The Hospitality

最高の“おもてなし”を支える
最適のパートナーに



第36期 ビジネスレポート

2019年10月1日 ▶▶▶ 2020年9月30日

BUSINESS REPORT



このたび、代表取締役に就任いたしました野口緑でございます。

コロナ禍により厳しい事業環境ではありますが、成長の機会ととらえ新経営陣とともに事業に取り組んでまいります。

代表取締役会長
野口 緑

新代表

対談

このたび、代表取締役に就任いたしました田口泰一でございます。

既存事業の維持強化に加え、新規顧客の開拓や新たなビジネスモデルの確立に尽力してまいります。

代表取締役社長
田口 泰一



2020年12月18日に開催の第36期定時株主総会ならびに取締役会において、新たに野口緑が代表取締役会長に、田口泰一が代表取締役社長に就任いたしました。新たな経営体制となったCSSホールディングスについてご説明します。

新体制への移行についてお聞かせください。

野口：新型コロナウイルス感染症の拡大により、ホテル、レストラン関係をはじめ主要顧客が大きな影響を受けるとともに、当社も厳しい事業環境に置かれています。社会が急激に変化するなか、創業以来36年間業界の第一線を走ってきた当社としても、10年先、20年先、その先の未来まで事業を継続するための変革が今必要と考え、経営体制を新しくすることにいたしました。

創業時メンバーが築いてきた土台の上に、新体制では経営陣をスリム化し、若手執行役員を積極

的に登用して現場の若い力を経営に反映いたします。

田口：私は、50年近くホテルをはじめ観光産業に関わってまいりました。私の経験からホテルサイドのニーズをさらに引き出し、現場の皆と一緒にしてお客様との関係強化を図ってまいります。

会長と社長の役割はどのようになりますか。

野口：私は創業者の1人として、前例のないところから専門的な仕事としてスチュワード事業を立ち上げたときのパワーを知っています。そのとき

の想い、プロとしての技術に根差したプライドが当社の根底にあります。そうした原点を様々な形で私が皆に伝え、理念として次世代につなげていかなければならないと思っています。

田口：野口会長がよく口にされる「夢のある会社、志のある人間を作りたい」という言葉、それがプライドということなのだと思います。それを実践させるのが私の役割です。

具体的には、既存事業の維持強化に加えて、施策としてマーケティング戦略のプロジェクトチームをつくりたいと考えています。3つの事業(スチュワード、フードサービス、空間プロデュース)全体を見通して新たな顧客層や営業戦略の創出に取り組みます。

野口：これまで以上に我々が一つになって事業間

のシナジーを強化していきたいですね。

田口：また、IRとガバナンスの強化も必要と思っています。株価向上や安定的な配当実施のためにも、個人投資家の皆様に当社をもっとよく知っていただく必要があると感じています。

株主の皆様へメッセージをお願いします。

野口：コロナ禍で社会全体が新しい形を模索しているなか、お客様とともに歩むCSSグループでありたいと思っています。

田口：その新しい形を若い人たちと一緒に創り上げ、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

CSSグループ新経営体制

2020年12月18日現在

CSSホールディングス経営陣

代表取締役会長
野口 緑

新任 取締役
渡邊 和男

新任 取締役 監査等委員(社外)
布施 明正

新任 代表取締役社長
田口 泰一

取締役 監査等委員(社外)
越智 敦生

新任 取締役 監査等委員(社外)
永辻 航

事業会社代表

新任 株式会社セントラルサービスシステム
代表取締役社長 田口 泰一

株式会社センダン
代表取締役社長 峠 幸久

東洋メディアリンクス株式会社
代表取締役社長 松島 透

音響特機株式会社
代表取締役社長 西田 耕

Mood Media Japan株式会社
代表取締役社長 阿部 治男

株式会社パトリオットバトン
代表取締役社長 讃岐 康司

株式会社セントラルホテルサービス
代表取締役社長 近藤 太郎

新任 株式会社CSSビジネスサポート
代表取締役社長 野口 緑

株式会社CSSホールディングス 取締役コメント



取締役 渡邊 和男

このたび、株式会社CSSホールディングスの取締役に就任いたしました渡邊和男でございます。

私は、約30年間銀行業務に携わったのち、2006年に、当社に入社いたしました。その後いくつかの役職を経て、2015年から取締役（監査等委員）を務めておりましたが、これからは業務執行側の取締役として、会長と社長をサポートする立場となります。

私の大きな役割は、まずグループの財務全般を統括し、銀行や証券会社との接点となることです。また、グループ傘下の事業会社の監査役も担い、各社の横の連携を把握します。加えて、IR活動も担当いたします。

当社の重要な経営課題として、今後予定されて

いる東京証券取引所の市場再編に対応することが挙げられます。グループ全体でみると、当社はホテル関係だけでなく幅広い顧客層をもっています。各事業会社はそれぞれユニークな会社ですので、IR強化により当社の魅力をアピールし、株式価値向上につなげたいと考えています。

さらにこれからはESG（環境・社会・ガバナンス）も念頭に入れる必要があります。ガバナンス体制については、新体制への移行で社外取締役が半数となります。そのほかについても、積極的に取り組んでまいります。

CSSグループは変革のときを迎えます。これからの当社にぜひご期待ください。

株式会社センダン 社長就任コメント



代表取締役社長 峠 幸久

2020年10月、株式会社センダンの代表取締役社長に就任いたしました峠幸久でございます。

当社は、従業員食堂およびビジネスホテルの朝食レストラン等の受託運営を中心とした給食サービスの提供を行っております。

安心安全を第一とし、一日のスタートの活力の場・憩いの場としてくつろいでお過ごしいただけるような食空間づくりを通じて、お客様の事業運営のお手伝いをすることが当社の使命です。

就任するにあたり、運営方針として「お客様のおもてなしの探求」「従業員の笑顔の追求」「安心安全と健康の討求」の3つの「求」を掲げました。あいさつや身だしなみといった基本を大切にす姿勢を引き継ぎ、事業を進めてまいります。

また、新しい分野や事業にもチャレンジしてまいります。給食サービスでいえば、介護福祉施設内の食堂の展開と、ホテルの朝食レストランだけではない通常レストラン運営の拡大を考えております。また、2021年6月からHACCP（ハサップ）に基づいた衛生管理制度が施行されることに向けて、中小飲食店向けの衛生管理コンサルタントや衛生商材などの物販を視野に入れ、株式会社パトリオットバトンとのさらなる強固な連携を図ります。

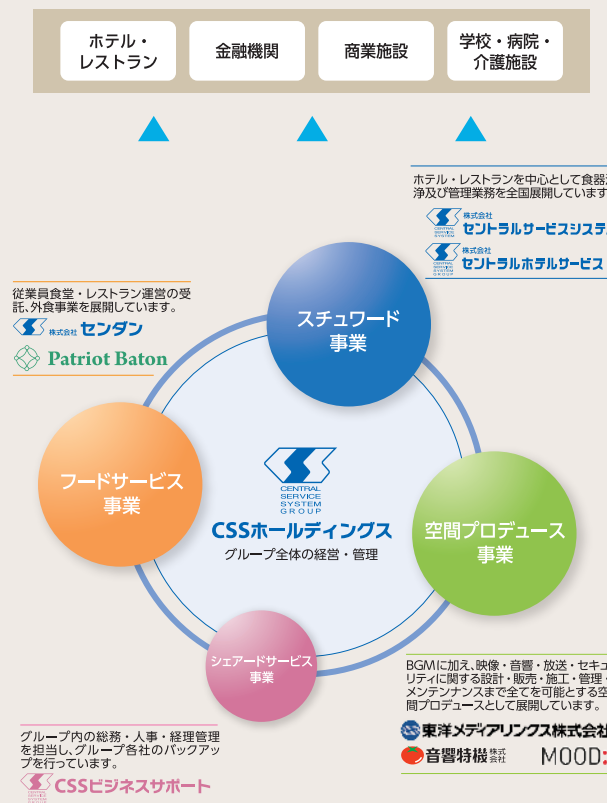
新型コロナウイルス感染症が終息した後に花開かせるため、現在はその種をまく時期と考え準備を推し進めております。

株主の皆様には、なにとぞ変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

CSSグループ経営理念

私たち、CSSグループは、「質の高い“おもてなし”の創造」を理念とし、「最高の“おもてなし”」を実現するための「最適なサービス」を提供します。

最高の“おもてなし”を支える
最適のパートナーに



2020年9月期 連結業績

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、グループ全体としては対前年35.1%の減収となりました。

本業の実力を示す営業利益については、パート・アルバイトの賃金補償等の影響により大きく損失を計上する結果となりました。

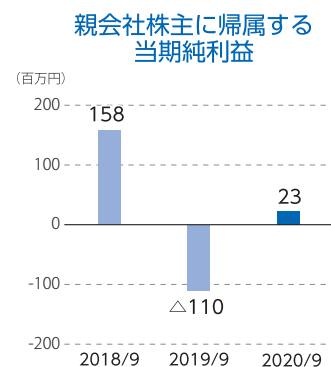
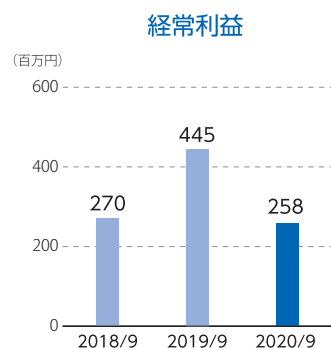
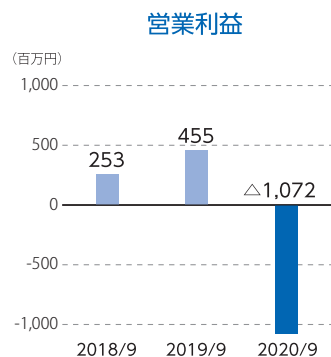
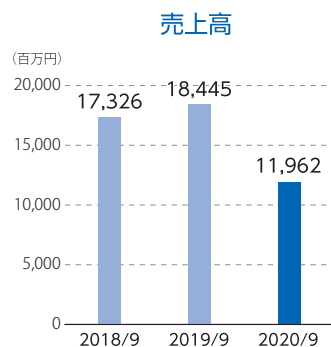
経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については雇用調整助成金の特例措置により営業外収益が増加したことで黒字を確保することができました。

売上高 11,962百万円

営業損失 △1,072百万円

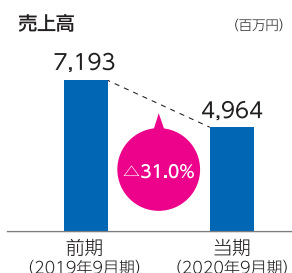
経常利益 258百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 23百万円



スチュワード事業

売上高 4,964 百万円 営業損失 △1,001 百万円



上半期は好調に推移し、154百万円の営業利益を計上したものの、下半期においては新型コロナウイルス感染症の影響により主要顧客であるホテルにおけるレストランの休業、宴会場の閉鎖が相次ぎ、年間の売上高は対前年31.0%の減収となりました。

営業利益については、パート・アルバイトの賃金補償の影響により、人件費の負担が大きく、損失の計上となりました。

新 規受注案件〈事例紹介〉

当期のスチュワード事業では、ホテルや結婚式場をはじめ、当事業としては初の業態となる商業施設内フードコートも受注いたしました。

セントラルサービスシステム

大丸心齋橋店本館「心齋橋FOODHALL」様
スチュワード業務



2019年9月、86年ぶりに建て替えられた大丸心齋橋店本館様の地下2階「心齋橋FOODHALL」にて、スチュワード業務を受注いたしました。“五感が刺激されるライブキッチン”をコンセプトに、世界の様々なグルメを気軽に味わうことができる大規模なフードホールです。

セントラルホテルサービス

ホテル阪急レスパピア大阪 様
スチュワード業務

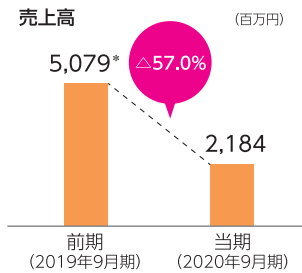


2019年11月、阪急阪神ホテルズ様の新ブランドとなる「ホテル阪急レスパピア」1号店誕生にともない、スチュワード業務を受注いたしました。大阪・梅田の中心地に位置しながらも、都会の喧騒とは無縁なつくりとストレスフリーなおもてなしを体験することができます。

フードサービス事業

売上高 2,184 百万円

営業損失 △130 百万円



上半期は、新たな給食事業とホテルの朝食レストラン合わせて5件受託となり、概ね好調に推移しました。

下半期については、新型コロナウイルス感染症の影響により、従業員食堂の委託が見直されるとともに、レストランの利用客の激減により年間の売上高は対前年57.0%の減収となりました。

営業利益については、パート・アルバイトの賃金補償の影響により、人件費の負担が大きく、損失の計上となりました。

* 2019年9月30日付でヤマト食品株式会社を譲渡しておりますが、前期実績にはヤマト食品株式会社の業績が含まれております。

新 規受注案件〈事例紹介〉

当期のフードサービス事業では、ホテルの朝食レストラン、従業員食堂をはじめ、北陸・北海道エリアで初となる事業所も開設いたしました。

センダン

ホテルフォルツァ金沢 様
朝食レストラン



2019年10月のグランドオープンにともない、センダンによる朝食レストランの運営がスタートいたしました。金沢の風情を感じることができる歴史のある郷土料理やご当地メニュー、器にもこだわりました。

センダン

渋谷エクセルホテル東急 様
社員食堂

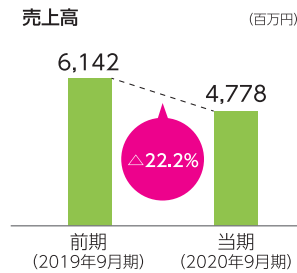


2019年10月、センダン運営による渋谷エクセルホテル東急様の社員食堂「HACHI∞CAFÉ」がオープンいたしました。「カフェ風」のおしゃれな店内のイメージに合わせメニューも工夫しました。東急様系ホテルの社員食堂の受注は3件目となりました。

空間プロデュース事業

売上高 4,778 百万円

営業利益 50 百万円



新型コロナウイルス感染症の影響による景気後退で、金融営業部門でのメガバンクの投資の先送り、法人営業部門における大型投資の見合わせ、音響機器販売における展示会中止、商品セミナーや対面セールスの制限、海外製品の納品遅れ等により、売上高は対前年22.2%の減収となりました。

営業利益については、人件費の削減、固定費の圧縮を行ったことで黒字を確保することができました。

新 規受注案件〈事例紹介〉

当期受注した案件で特に注目を集めた事例をご紹介します。

東洋メディアリンクス

NEWoMan横浜 様

オリジナルサウンド制作／館内アナウンス制作／館内BGMコーディネート

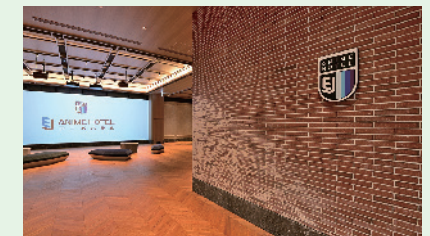


JR横浜駅西口に2020年6月に開業した、大人の女性をメインターゲットとする商業施設です。オリジナルサウンドには小鳥のさえずりや波の音などを取り入れるなど、音を通じて居心地の良い空間をつくりあげました。

東洋メディアリンクス

EJアニメホテル 様

香り演出



2020年10月に開業した、ところざわサクラタウン敷地内にあるEJアニメホテル様の受付ロビーにて、香りの演出を手がけました。新作のホワイトティー系の爽やかな香りでお客様をお迎えいたします。

CSSグループを支えるグループ会社を連載でご紹介します。

空間プロデュース事業

音響特機株式会社

大型の施設やコンサートホール、放送局等で使われる
プロフェッショナル向け音響機器の輸入および販売事業を展開しています。



豊富な品揃えで音の現場をサポート

当社は、大型スピーカーなど高品質な業務用音響機器を販売している会社です。基本的には設備会社、コンサート・イベント会社、テーマパーク、放送局などの企業に対して卸販売を行うBtoBのビジネスとなります。

当社の特長は、海外ブランドの製品を正規代理店として輸入するだけでなく、国内メーカー品も豊富に取り扱っているところです。メーカーの場合は自社製品だけを売ることになりますが、当社では様々なメーカーの商品をお客様のご要望や導入環境によって最適な組み合わせでご提案することができます。

また、お客様へのサポートにも力を入れており、本社近くにはテクニカルセンターを設け、製品を直接手に取って体験していただけるトレーニングを随時開催しています。トラブル対応や修理体制も当社の強みです。輸入製品を導入する際の不安として、修理に出すときにメーカー本国へ送らなくてはならないのでは、というご質問をいただくのですが、当社では国内拠点で修理ができ、トレーニングを受けたエンジニアが迅速に対応しています。

“音”のある様々な場所に需要がある

当社の納入先は、放送局やイベント業界をはじめ、商業施設、多目的ホール、公共機関、学校、一般企業（ビデオ会議システム）など多岐にわたります。

横浜スタジアムでは常設のアナウンス設備・スピーカーなどに当社の納入した製品が使用されています。イベント業界では、有名アーティストのプロモーションビデオやライブ映像に製品が映っていることもあります。ホテルの宴会場、放送局のスタジオなど、音を使うところに需要があります。

特に引き合いが多いのが、企業の会議室設備です。役員会議室用の音響設備は元来当社の強みがある分野でした。そうした会議室では、パソコン内蔵のマイクと違い、遠隔でも相手にはっきりと音声が届くクリアな音質の設備が求められます。コロナ禍の現在、ビデオ会議が主流になり、小会議室や打ち合わせスペースにも同様の設備の需要が増えています。

音響設備は、隠されて設置されていることが多く、たくさんの方の目につくものではありませんが、自分たちが提案した設備で音がよくなったと評価をいただいたり、納入した

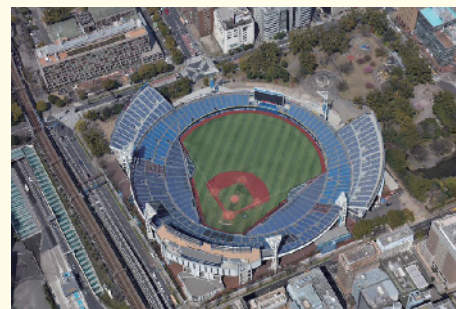
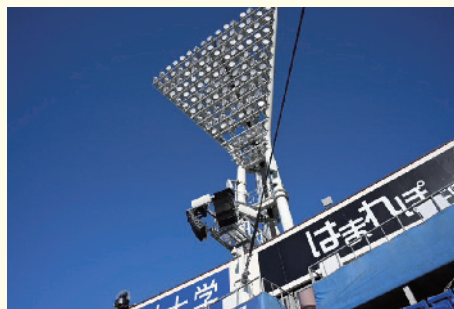
施設が音に力を入れていると紹介されたりすると非常に嬉しいものがあります。

これからの音響特機

新型コロナウイルス感染症の影響で働き方においてビデオ会議が主流となってきたように、社会全体の在り方が変化してきています。当社も、変化する時代のニーズに合った製品をいつでも提供できるように、最新の知識を身につけなければいけないと考えています。

最近ではネットワークを使って音を伝送する音響設備が増えています。ほかにも5Gの普及により新しいテクノロジーへの対応や、グローバル企業の海外と日本のオフィスをつなぐ需要など、ニーズは広がっています。

当社が扱っている“音”の市場は、目立たずとも絶対になくならない市場です。そこでいかに当社のシェアを広げるかが重要と考えています。そして、裏方のお手伝い役としてお客様にご満足いただけるよう、努めてまいります。



(取材協力)
音響特機株式会社
営業部 部長
羽鳥 慎吾 (写真左)
マーケティング部 課長
宮下 朋丈 (写真右)

ウィズコロナ時代におけるグループ各社の新たな取り組みをご紹介します。

PTB パトリオットバトン

TML 東洋メディアリンクス

SDN センダン

フード
サービス

PTB

SDN

フードサービス事業における感染予防対策

パトリオットバトン

「KINBOSHI PASTA CAFÉ」 「ガンバロウ サヤマ」キャンペーンの実施

期間限定で商品のテイクアウトを開始。ご自宅でも美味しく召し上がっていただくため、お持ち帰り容器を工夫し、パスタやピザ、サラダ、シフォンケーキなど多種多様なメニューを30%オフにて提供いたしました。



安心安全な店づくり

従業員のマスク着用や毎日の体調記録、消毒液による手指・店内消毒を徹底いたしました。



センダン

感染予防対策でテイクアウトスタイルの新メニューを提供



ホテルビスタ東京(築地)様
期間限定深川めし付
朝食弁当

ホテルフォルツァ様
朝食リニューアル
「FORZA POWER
BOOST MEALS」



センダンでは、新型コロナウイルス感染症予防対策として、レストランなどで提供していたピュッフェスタイルを中止し、お弁当やデユース向けの軽食といった新メニューの提供を開始いたしました。

安心安全な店づくり

従業員のマスク着用や毎日の出勤前の検温と体調管理記録、消毒液による手指・店内消毒、ホテル内レストランでは、入店されるお客様に対する検温を徹底いたしました。

CSS
グループ

新型コロナウイルス感染症の対策講習を実施

当社では、グループ全体で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めるため、感染症への備えや対策強化を目的とした講習を各フロアごとに実施いたしました。

センダンの衛生栄養管理室の指導のもと、防護服の着脱手順や消毒方法などの専門的な知識を学び、感染症対策および従業員への意識づけを強化しております。



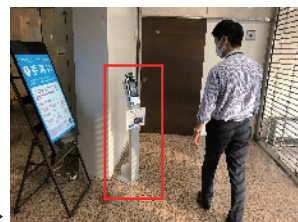
空間
プロデュース
事業

TML

スタンド型体温測定デバイスの取り扱いを開始

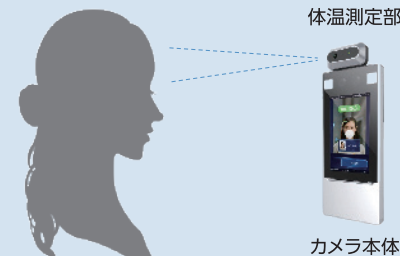
コロナ禍となり、体温測定器への需要が急増したことを受け、東洋メディアリンクスではスタンド型体温測定デバイスをはじめ、関連商品の取り扱いを開始しました。

工事不要で設置も簡便なため、当社グループの顧客層であるホテル、イベント・商業施設、学校、企業ビル等のニーズに応えられる新たな商材として取り組んでおります。



設置イメージ▶

顔を検出した際に、額部分の温度を測定

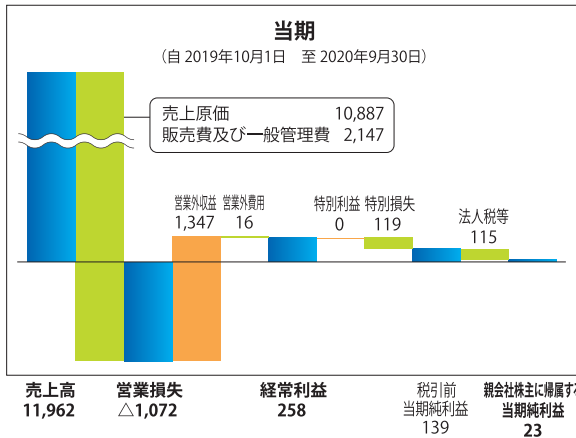


- ・1分間に20~30人測定可能(測定は1人ずつ)。
- ・マスク着用の有無も判別。

■連結財務データ

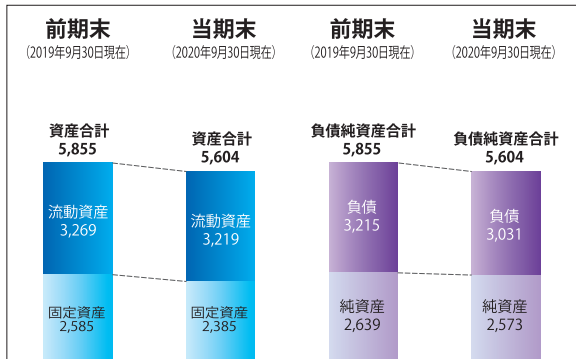
損益計算書の概要

(単位:百万円)



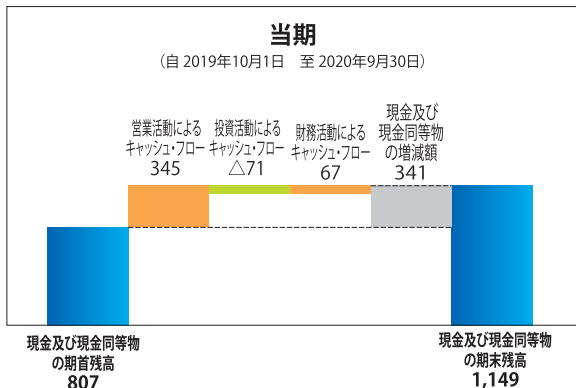
貸借対照表の概要

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

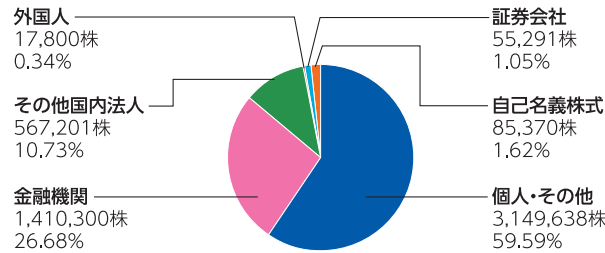
(単位:百万円)



■株式の状況(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 20,776,000株
発行済株式の総数 5,285,600株
(内、自己株式85,370株)
株主数 1,875名

■株主分布(2020年9月30日現在)



*分布比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■大株主

株主名	所有株数	持株比率*1(%)
野口 緑	1,288,400	24.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	654,000	12.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	606,000	11.65
S・TEC株式会社	425,000	8.17
原田 千壽	190,100	3.66
株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)*2	146,700	2.82
三瓶 秀男	130,900	2.52
秋元 之浩	96,300	1.85
CSSグループ従業員持株会	80,600	1.55
株式会社広美	80,000	1.54

*1 上記の持株比率は、自己株式85,370株を控除して計算の上、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

*2 株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)は、役員向け株式給付信託の信託財産として146,700株を保有しております。なお、当該株式は自己株式に含めておりません。

■会社概要(2020年9月30日現在)

会社名 株式会社CSSホールディングス
本社所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
会社設立 1984年(昭和59年)12月
資本金 393百万円
連結従業員数 5,612名
(うち、パートナー(パート・アルバイト)5,083名)

役員
(2020年
12月18日現在)

代表取締役会長	野口 緑
代表取締役社長	田口 泰一
取締役	渡邊 和男
取締役 監査等委員(社外)	越智 敦生
取締役 監査等委員(社外)	布施 明正
取締役 監査等委員(社外)	永辻 航

株式Information

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座の
口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

<住所変更等のお申し出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

<未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.css-holdings.jp/>

セントラルサービスシステムグループ
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP
株式会社CSSホールディングス

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
TEL : 03-6661-7870 / FAX : 03-6661-7871